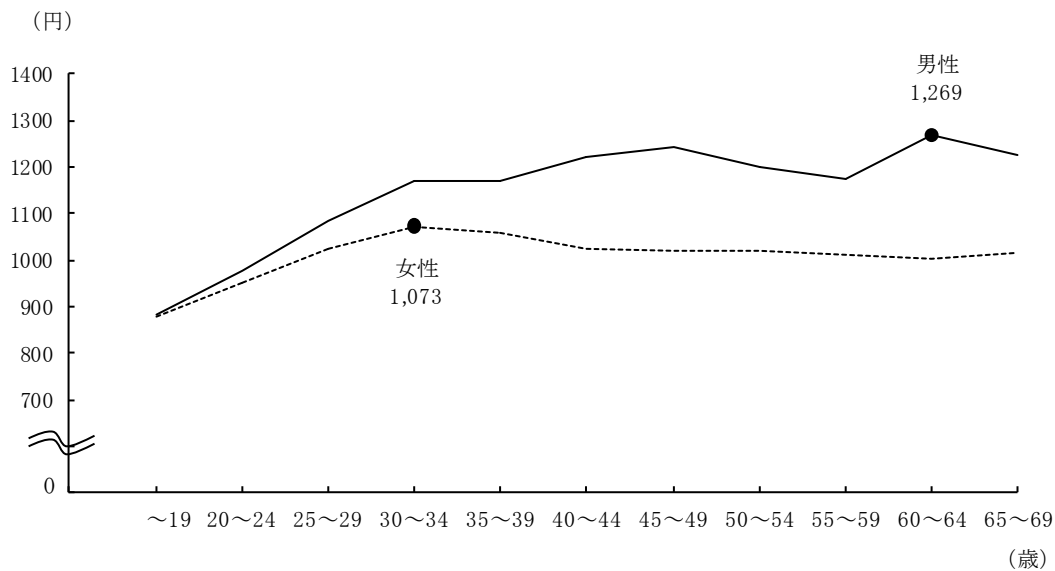


## 2 短時間労働者の賃金

### (1) 年齢階級別にみた賃金

短時間労働者の1時間当たり賃金は、男性が1,120円（前年比2.3%増）、女性が1,012円（同0.5%増）となっている。男性、女性ともに25～29歳以降は1,000円を超えており、男性では、60～64歳で1,269円と最も高く、女性では、30～34歳で1,073円と最も高くなっている。（第11図、第13表）

第11図 短時間労働者の性、年齢階級別1時間当たり賃金



第13表 短時間労働者の性、年齢階級別1時間当たり賃金、対前年増減率及び年齢階級間賃金格差

年齢階級	男性			女性		
	1時間 当たり 賃金(円)	対前年 増減率 (%)	年齢階 級間賃 金格差 (20～24歳 =100)	1時間 当たり 賃金(円)	対前年 増減率 (%)	年齢階 級間賃 金格差 (20～24歳 =100)
年齢計	1,120	2.3	115	1,012	0.5	106
～19歳	883	1.1	91	878	2.6	92
20～24	975	0.8	100	952	0.3	100
25～29	1,084	3.3	111	1,025	-0.3	108
30～34	1,168	-0.2	120	1,073	2.8	113
35～39	1,169	0.2	120	1,058	-0.9	111
40～44	1,220	2.4	125	1,023	0.7	107
45～49	1,244	2.1	128	1,020	0.1	107
50～54	1,198	3.5	123	1,018	0.8	107
55～59	1,173	3.1	120	1,010	0.5	106
60～64	1,269	2.6	130	1,003	-0.3	105
65～69	1,225	4.3	126	1,015	1.2	107
年齢(歳)	43.4			45.6		
実労働日数(日)	15.8			17.0		
1日当たり所定内実労働 時間数(時間)	5.4			5.3		
勤続年数(年)	5.1			5.8		

(2) 企業規模別にみた賃金

企業規模別に1時間当たり賃金をみると、男性では、大企業が1,072円（前年比1.9%増）、中企業が1,159円（同2.3%増）、小企業が1,155円（同3.4%増）、女性では、大企業が1,007円（同0.2%増）、中企業が1,031円（同1.0%増）、小企業が1,001円（同0.4%増）となっている（第14表）。

第14表 短時間労働者の企業規模、性別1時間当たり賃金、対前年増減率及び企業規模間賃金格差

企業規模	男性			女性		
	1時間 当たり 賃金(円)	対前年 増減率 (%)	企業規模 間賃金格 差(大企業 =100)	1時間 当たり 賃金(円)	対前年 増減率 (%)	企業規模 間賃金格 差(大企業 =100)
大 企 業	1,072	1.9	100	1,007	0.2	100
中 企 業	1,159	2.3	108	1,031	1.0	102
小 企 業	1,155	3.4	108	1,001	0.4	99

(3) 産業別にみた賃金

主な産業別に1時間当たり賃金をみると、男性では、製造業、運輸業、郵便業、卸売業、小売業、サービス業（他に分類されないもの）が1,000円を超え、女性では医療、福祉が1,000円を超えている（第15表）。

第15表 短時間労働者の主な産業、性別1時間当たり賃金、対前年増減率及び産業間賃金格差

性、産業		1時間当たり賃金(円)	対前年増減率 (%)	産業間賃金格差 (産業計=100)
男 性	産業計	1,120	2.3	100
	製造業	1,186	-1.0	106
	運輸業、郵便業	1,132	0.4	101
	卸売業、小売業	1,012	1.2	90
	宿泊業、飲食サービス業	941	2.2	84
	サービス業(他に分類されないもの)	1,136	5.4	101
女 性	産業計	1,012	0.5	100
	製造業	917	1.4	91
	卸売業、小売業	939	-0.2	93
	宿泊業、飲食サービス業	912	1.4	90
	医療、福祉	1,231	-1.4	122
	サービス業(他に分類されないもの)	989	2.5	98

注：産業計には、上掲のほか、男女とも、鉱業、採石業、砂利採取業、建設業、電気・ガス・熱供給・水道業、情報通信業、金融業、保険業、不動産業、物品賃貸業、学術研究、専門・技術サービス業、生活関連サービス業、娯楽業、教育、学習支援業、複合サービス事業を含み、更に、男性では医療、福祉、女性では運輸業、郵便業を含む。